

南信州広域連合第9回広域連合会議 結果報告

日時：平成28年12月15日(木)15:22～15:49

場所：長野県飯田合同庁舎 3階講堂

1 開 会…15:22

【出席者】13市町村長・売木副村長・佐藤副管理者

〔下伊那地方事務所〕山本所長・布山副所長・今井地域政策課長・細野地域政策課長補佐兼企画振興係長

〔飯田建設事務所〕山崎次長

〔飯田保健福祉事務所〕小林副所長

〔飯田市〕遠山中央図書館長

〔(公財)南信州・飯田産業センター〕小林事務局長

〔町村会〕牛久保事務局長

〔飯田広域消防〕関島消防長・三石消防次長兼飯田消防署長・有賀総務課長

〔飯田環境センター〕田見事務長

【事務局】渡邊事務局長・塚平事務局次長・北原事務局次長補佐兼庶務係長・秦野事務局次長補佐兼広域振興係長・下島介護保険係長・前沢庶務係主事

2 広域連合長挨拶

年の瀬も迫り、市町村議会等の対応でご多用の中お集まりいただき感謝申し上げます。

広域連合として今年を振り返ると、大変画期的な年だったと思う。10月末には新たな産業振興の拠点に着工することができ、11/1にはリニア着工式を迎え、いよいよこれからリニア・三遠南信道を見据えた南信州の地域づくり・産業づくり・人づくりが本格化していくということを感じさせられた1年であった。

来年になると、大学入試センター試験が当地域で行われることとなり、また稲葉クリーンセンターも稼働が開始される。その他、さまざまな課題解決に向けた取組を行わなければならない1年になると思う。引き続きご尽力・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

3 協議・報告事項

(1) 南信州産業活性化協議会 企業立地促進法に基づく基本計画の策定について

…資料1による説明 (小林事務局長)

5年を1期とする本計画について、来年で5年目を迎える。その後についても法に基づく支援を受けていくために、30年度以降の計画を策定させていただきたい。事業費は310万円。事業内容は基本計画策定業務として、次期計画期間における産業集積ビジョンの作成。

制度概要について。国が策定する基本方針に基づき、自治体等で組織する地域産業活性化協議会での協議を経て基本計画を作成し、主務大臣に協議する中で同意を得る。同意を得た基本計画に基づいて実施する事業には一定の支援措置が受けられる。

主な支援の内容について。不動産取得税・固定資産税の課税免除または不均一課税をはじめ、ほか資料2 P記載の優遇制度が設けられている。また、基本計画の同意を国から受けたことにより得られた補助金・支援等として、産業センターにおいても機器の導入等に対して1/2の補助をいただいている経過がある。個々の企業においては、企業所在自治体を資料3 Pに記載したとおり、これらの町村で立地等についてそれぞれ支援を受けた経過がある。

この計画について、来年度の策定をお願いしてまいりたい。協議の程、よろしくお願い申し上げます。

【質疑】(松島副連合長)

計画策定について、委託せずに自前で策定することはできないか。また、委託する場合は地元の企業に委託できるか。

【応答】（小林事務局長）

国の制度改正等をふまえる中で動いていく流れとしては、自前での策定は難しいと思われる。委託先については、過去2回の計画策定実績及び法改正等を把握する中で動ける事業所という点から「日本立地センター」に委託することが適当であると想定している。

(2) 定住自立圏南信州図書館ネットワークについて

…資料2による説明（遠山中央図書館長）

定住自立圏形成協定に基づき、飯田市と周辺町村が共同している南信州図書館ネットワークシステムについて。平成23年7月に運用を開始し、現在は飯田市・松川町・高森町及び豊丘村の4市町村で図書の貸し借りをを行っている。今年度に入り、喬木村より平成29年度からの参加希望あり。新たに参加することに伴い、飯田市と喬木村との間の定住自立圏形成協定について、「南信州図書館ネットワークシステムの導入・運用」に係る項目を追加することになる。また、システム構築から5年が経過し、現在コンピュータシステム更新の準備を進めている。喬木村立椋鳩十記念図書館の参加は、この更新機器が稼働する平成29年7月1日を予定。今後のスケジュールについては、飯田市及び喬木村の3月議会において、定住自立圏形成協定の追加締結の議案を提出し、審議していただく予定。

資料3 Pは4市町村の利用状況を数値化したもの。平成27年度は4市町村合計31,567冊が相互で活用された。ネットワークを組んでいくことは地域資源を共有し、まちづくり・人づくり・産業づくりを支えるものへと繋がると考える。引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

【質疑】（金田下條村長）

現在の貸し借りはどういった内容か。

【応答】（遠山中央図書館長）

主な内容は、小説や市町村の資料等。また、貸出中の場合には他の市町村から取り寄せることも行っている。

【質疑】（熊谷阿智村長）

費用負担ほどの程度か。

【応答】（遠山中央図書館長）

ネットワークについては各市町村の単独部分と4市町村で行う共有部分がある。更新料(現時点では見積段階)は、共有部分に関わるもので約2,800万円。各市町村の負担割合については、平成27年4月1日の人口割合で進めていく予定。今のところの試算では飯田市が約2,000万円、喬木村を含めた4町村が約800万円余。ただ、今後の入札等で若干変わることが予想される。

(3) 大学入試センター試験会場について

…資料3による説明（渡邊事務局長）

来年1/14・15に行われる大学入試センター試験から、飯田高校が試験会場となる。資料のとおり、今日まで準備が進められてきた。試験当日は、信州大学・平野副学長をはじめ20～30人に泊まり込みでこちらへ来ていただき、試験対応をしてくださる。資料裏面は、今週の土日に飯田高校で行われる予行模擬試験の実施通知の写し。長年の懸案であったが、皆様のご協力を賜り、29年からこのようなかたちで進んでいくことについてご承知おき賜りたい。

【質疑なし】

(4) 県議会議員との懇談会について

…資料4による説明（渡邊事務局長）

年明けの1/13(広域連合会議後)に行う予定。懇談の内容については資料掲載の4項目を想定している。リニア関係は、基本計画についてその時の状況を中心にしながら懇談していただく。旧工業高校後整備の状況は、県への要望等を含めてテーマにしていきたい。運転免許センターについても同様。

阿南学園については、機会を改めて状況を話したいと思っている。改築に向けて資金造成等の課題があり、この点についても要望してまいりたい。

【補足】(松島副連合長)

今度の県議会議員選挙の定数について、新聞報道では「1票の格差2.0以内に抑えたいという方向が確認された」とのことだが、これに係る委員長が古田先生であるため、その考え方や検討状況をお聞かせ願いたいということを時間が許せば発言する予定。承知願いたい。

(5) 飯田広域消防から

…資料5による説明(三石消防次長兼飯田消防署長)

昨年同日と比較した12/14現在の市町村別火災発生状況について。今年の総合計74件は昨年と比較して1件の減少。

12/14現在の火災・救急・救助の出動件数について。昨年同日と比較して、救急は193件の増加、救助は18件の減少。今年の救急出動件数については、一昨年と同様の7,000件超が予想される。

【質疑なし】

(6) 後援依頼について

…資料6による説明(北原事務局次長補佐兼庶務係長)

「第31回飯田やまびこマーチ」(第31回飯田やまびこマーチ大会長)の後援依頼。平成29年4月22日(土)・23日(日)開催。内容については資料参照。来年度は12コースで実施予定。当行事については例年広域連合で後援している。来年度についても協議をお願いしたい。

【質疑なし、後援承諾】

4 長野県

●下伊那地方事務所

…口頭・資料による説明(山本所長)

4点お話をさせていただく。

①現地機関の見直しについて。11月県議会において、地域振興局の設置に関する条例・県税事務所の設置に関する条例が可決され、来年4月から「南信州地域振興局」がスタートすることが正式に決定した。今回の見直しについては、地域振興局長がリーダーシップを発揮して他の現地機関と連携しながら、地域の課題はできるだけ地域で解決していくための見直しということ。皆様の期待に応えられるように、来年度に向けて準備を進めてまいる。

②平成29年度の元気づくり支援金について。補助率のかさ上げの対象となる重点テーマの案について説明する。資料のとおり、当地域における重点テーマ(案)は6点、県全体の重点テーマ(案)は4点。重点テーマに該当する場合の補助率については、資料のとおりそれぞれかさ上げされる。来年度の支援金の募集期間は来年1/5～2/1。12/19に合同庁舎にて説明会を予定している。市町村には積極的に応募していただき、住民への周知をお願いしたい。

③移住・定住施策の取組状況について。12/10東京・ふるさと回帰支援センターで開催したセミナーに21人の参加があった。来年2月には広域連合と連携して、銀座NAGANOにて移住セミナーを開催予定。県では、そのセミナーに間に合うように「南信州移住促進ガイド」を作成したいということで、各市町村からデータをいただきながら現在作成中。リニア・三遠南信道の開通を見据えて、南信州全体の移住者増加につながるよう取り組んでまいりたい。引き続きご協力・ご支援願いたい。

④NHK大河ドラマ「おんな城主 直虎」について。主な舞台は静岡県で、三遠南信地域にゆかりの多いドラマとして高森町も舞台となっている。来年は信州ゲストレーションキャンペーン本番の年であるため、県では静岡県・愛知県と連携しながら、大河ドラマをひとつのきっかけとして、より多くの方に南信州に来ていただけるように皆様と一緒に取り組んでまいりたい。

【質疑なし】

●飯田建設事務所…なし

●飯田保健福祉事務所…なし

5 今後の日程

1月13日(金) 広域連合会議

15:30～ 県議会議員との懇談会

2月8日(水) 桐林クリーンセンター連絡協議会

6 閉会…15:49